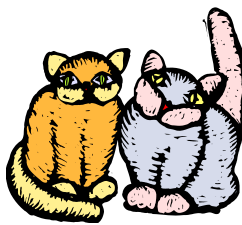


## 「そうだったのか！ペットの為の自主防災」講演～報告

主催 認定NPO法人えひめイヌ・ネコの会  
日時 平成 23 年 5 月 29 日(日)13:30～15:30  
場所 コムズ視聴覚室 A  
講師 認定 NPO 法人えひめイヌ・ネコの会代表 高岸ちはり  
司会 まつやまサポートセンター職員 西岡奈菜子  
参加者 スタッフ:2 名、ボランティア:3 名、来場者:10 名  
マスコミ: 愛媛新聞社・読売新聞社 被災動物募金協力: ¥2,200  
報告 前半は、東日本大震災や過去の震災でのペットの様子や行政や愛護団体の活動の様子を発表。  
後半は、ペットと一緒に避難するための注意事項、実際に避難する事になった場合は、どういった手続きで、どのようになるのかをプロジェクターを使っての説明。  
みなさん、熱心に聞かれていました。ご自分のペットをどうすればいいのか？  
たくさんいる場合はどうなるのか？ やはり、今回の震災で、より深く考えられたとのことでした。



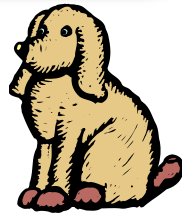
## コミュニティ・カレッジ講演会～報告

主催 愛媛県生涯学習センター  
日時 平成 23 年 7 月 16 日(土) 13:30～15:30  
場所 愛媛県生涯学習センター  
報告 この講演依頼を受けたのは昨年のもので、その時は「そうだったのか！動物愛護の現状」というテーマでチラシ等の印刷も出来上がっていましたが、東北の災害が起こり、急遽「そうだったのか！ペットの為の自主防災」に変えました。  
まずは、当会活動紹介から東日本大震災の被災犬猫たちの写真等を見てもらいました。地震から 4 ヶ月経った今でも救援活動がままならない現状を知っていただき、そうならない為にまずペットと一緒に避難が一番大事。またその時には日頃からの飼い主の心掛けが大切だという事を当会の「人と犬猫の防災ハンドブック」をテキストにして、お話をさせていただきました。みなさん熱心にうなずきながら聞かれて、講演会をお受けして良かったと思えました。



## 7/9～7/30パネル展～報告

主催 愛媛県生涯学習センター  
日時 平成 23 年 7 月 9 日(土)～平成 23 年 8 月 1 日(月)  
場所 愛媛県生涯学習センター  
報告 7/16 のコミュニティ・カレッジ講演会にあわせて、1F ロビーでパネル展を行いました。  
昨年もさせていただき今年で 2 回目となります。  
今回は夏休み期間ですし、1 カ月の長期パネル展は多くの方々に見ていただけるので大変嬉しいお誘いでした。



## ♪ 新聞記事 ① ♪

### 災害時ペットも一緒に避難して 松山でセミナー

東日本大震災を受けて、家族の一員であるペットの自主防災を考えるセミナーが29日、松山市三番町6丁目のコムズであった。主催した同市のNPO法人えひめイヌ・ネコの会の高岸ちはり代表は「災害発生時は、絶対に一緒に避難を」と強調、周囲に迷惑を掛けないうよう、しつけやペットの健康管理も求められると指摘した。  
高岸代表は、福島県の福島第1原発事故に伴う警戒区域周辺での動物愛護団体の活動を取り上げ、震災恒後に置いていかれた多数の大や猫が餓死し、救出も間に合わない状況と説明。「落ち着いてからとっていると事態が悪化して戻れなくなる場合や、二次災害の恐れもある」と話し、災害時にペットを含めてどう対処するか、家族で話し合っておくことが必要とした。  
避難所では(動物嫌いやアレルギーのある人に配慮するのは「最低限のマナー」とし、普段からのしつけやワクチン接種などしておくべきだとアドバイス。ペットとはぐれた場合に備え、迷子札を付けることのほか「特に猫は警戒心が強く隠れてしまい、探すのが難しい。積極的に触ってもらうなど、人に慣らしておいてほしい」と呼び掛けた。

2011 年 5 月 30 日 愛媛新聞掲載

## ♪ 新聞記事 ② ♪

### 災害時ペットの生死は飼い主次第 避難方法や心構え学ぶ

災害時にペットと避難する際の心がけなどを学ぶ講演会「そうだったのか！ペットの為の自主防災」が 29 日、松山市三番町の市男女共同参画推進センター(コムズ)で開かれた。  
同市の NPO 法人「えひめイヌ・ネコの会」の主催。東日本大震災で防災意識が高まっており、ペットにかかわる問題や対策に関心を持ってもらおうと、同会が急きょ企画。ペットの飼い主ら約 20 人が参加した。  
高岸ちはり・同会代表が講師を務め、被災地に残されたペットの写真などから、餓死などの厳しい現状を紹介。災害時にはペットとの同行避難や、はぐれた時のために写真や迷子札を用意しておくなどをアドバイスし、「飼い主によってペットが救われるかどうかが決まる」と呼びかけた。参加した松山市常光寺町の飲食店経営、竹内美鈴さんは「今回の震災でかわいそうな犬の状況を見て、自分の犬の万一のことを考えて来た。迷子札などできることからやっていきたい」と話した。

2011 年 5 月 30 日 読売新聞掲載